



高校生の
皆さん

姉妹市(サンバーナディノ市)へ行こう!

対象は立川市に1年以上居住し、平成27年4月1日現在高校生で、派遣後も姉妹市委員会や国際交流活動に積極的に参加できる方。募集人数は若干名(筆記試験、面談等により選考)。派遣期間は、7月下旬から約1か月です。

申 申込書は、立川・サンバーナディノ姉妹市委員会事務局(市役所2階協働推進課内)、窓口サービスセンター(女性総合センター1階)、東部・西部・富士見・錦連絡所、砂川学習館で12月10日(水)から配布します。市ホームページからダウンロードもできます。1月5日(月)～2月27日(金)〔必着〕に必要事項を書いて、郵送で同事務局へ。応募者は、3月8日(日)の午後2時から子ども未来センター201・202会議室で開く説明会に必ずご出席ください。

問 立川・サンバーナディノ姉妹市委員会事務局(市協働推進課内) 内線2632

サンバーナディノ市への渡航旅費は、立川・サンバーナディノ姉妹市委員会が負担します。現地での宿泊はホームステイです。パスポートの取得費用、現地でのお小遣い、海外旅行保険料は各自の負担となります。

サ ンバーナディノ市は人口約21万人、アメリカ合衆国カリフォルニア州、ロサンゼルス市の東方約100kmに位置する自然環境に恵まれた都市です。立川市と人口や産業、交通の要衝であることなどが似ていることから昭和34年に姉妹市提携が行われました。



ホームステイ中は、サンバーナディノ市長への表敬訪問など、さまざまな体験ができます。



平成26年度

サンバーナディノ市の高校生のホームステイを引き受けた方からのメッセージ

第52期 派遣高校生の父親 萩原伸一(砂川町)

初めてわが家に来たシドニーの声は小さく、表情はこわばっていました。そこで私たちは笑顔で彼女にどんどん話しかけ、一緒に料理を作ったり英語で歌を歌ったりしました。1週間もするとすっかり打ち解け、その人柄に私たち家族は惹かれていきました。日光や富士山への観光、職場体験や陶芸体験など充実した4週間はあっという間だったようです。

空白だった最終日の予定。彼女は、家族みんなと笑って過ごしたいと言いました。互いに、いつまでもこのまま家族でいたいと感じた瞬間でした。最後に彼女は、たくさんの感謝と家族愛を込めた手紙をくれました。今でも宝物です。こんな良い機会を与えていただき、感謝します。

